

技術情報シート

1. 技術の名称	汚泥乾燥燃料化施設
2. 技術の内容	下水汚泥など有機系汚泥を油温減圧式乾燥で行い、粒状乾燥汚泥を製造し燃料に供する
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 有機系汚泥の乾燥造粒燃料化 【技術の特長】 有機系汚泥と廃食用油を混合し減圧下で間接加熱し汚泥乾燥を効率良く行う。乾燥した混合物は、油分離装置で油分離を行い油は循環利用、乾燥汚泥は冷却工程を経て燃料化される。  処理装置写真  バイオソリッド（乾燥汚泥） 【実績】 国内数施設 【価格又はその問い合わせ先】 下記7. 問合先窓口・担当者をご参照下さい。
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、リサイクル
②対象廃棄物	食品・生ごみ
③提供役務	プラント建設
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	中国、東南アジア、南アジア
6. 検索キーワード	テンプラ、汚泥乾燥、バイオソリッド、汚泥燃料化
7. 問合先窓口・担当者	三井造船株式会社 エンジニアリング事業本部 環境エネルギー・インフラ営業部 ・ 小倉 健彦